

■中国・ロシア：中露間のLPG陸上輸送ルートが運用開始

2019年9月9日付の現地専門紙によると、ロシアのイルクーツク油田と中国内蒙古の満州里間で、鉄道によるLPG輸送が開始された。初回の輸送では、ロシアから鉄道で送られた約1,150tのLPGが、中国の満州里にあるLPGターミナルでトラックや列車に搭載され、2つのルートで引き取り先企業に輸送された。この満州里LPGターミナルの処理能力は年間最大100万tで、第一段階は年間約10万tが予定されている。輸入業者である崑崙能源有限公司は、ロシアからの輸送列車が国境地点から24km離れたLPGターミナルまで移動する間に、中国の規制に基づいた安全要員の配置、および中国とロシアの鉄道のゲージの違いなど様々な課題があったが、無事に解決したと述べている。